

## 気持ちは未来の名指揮者

「幼児のためのミニコンサート」を開催

8月25日、市総合運動公園体育館で、第19回幼児のためのクラシックミニコンサートが開催されました。このコンサートは、クラシック音楽を通じて感受性豊かに育つことを願い、市クラシック同好会が主催したもので、西根地区の保育園児約90人が参加しました。子どもたちは、岩手大学管弦楽団の皆さんによる演奏を楽しんだほか、園児5人が実際に指揮者を経験。最後には、オーケストラの演奏に合わせて、園児と学生が「崖の上のポニョ」を一緒に歌いました。



名指揮者ぶりを発揮する寺田保育所の伊藤綾人君



写真左から、畠山さん、小野寺さん、遠藤君、田村さん、関さん

## この謎が君に解けるかな

市立図書館になぞなぞ・クイズ本寄贈

8月21日、パズル・なぞなぞ作家小野寺ぴりり紳さん（51歳・埼玉県川口市）と、とんぼ玉作家畠山定男さん（57歳・温泉郷）から市立図書館に、小野寺さん作のなぞなぞ・クイズ本45冊が贈られました。

寄贈は、畠山さんの工房開設10周年を記念し、ゲームソフト「レイトン教授シリーズ」のなぞ制作などで活躍している友人の小野寺さんに呼び掛け実現。贈呈式では、田村奏さん・関瑠那さん（松野小6年）、遠藤瑠騎君（田頭小4年）に本が手渡されました。

## そば殻と真心入り枕です

平高家庭クラブ、ムラサキ苗移植も実施

9月2日、平館高校（中川玲子校長、生徒309人）の家庭クラブが、市に紫薫枕137個を贈りました。

45年ほど前から続いているもので、家庭クラブ（松浦椿会長）のクラブ員約160人が、北館製麺から提供を受けたそば殻を使い製作。枕は、この1年間で89歳を迎えたお年寄りの皆さんに、敬老会で贈られました。

このほか、クラブ員は同日、校章のデザインにもなっているムラサキの苗約200本を、学校近くの山に植えました。今後は、紫根染めにも取り組む予定です。



市職員に紫薫枕を手渡す松浦椿会長（写真中央）



▶学校近くの山で、ムラサキの苗を植える生徒たち



「ワークサポート連華に車いすを寄贈」（8月18日、第一生命労働福祉部職業課支部）



「はたき落として小野寺慧斗選手（平館高2年）の勝ち」（8月28～29日、東北総体相撲競技少年団体の部）



「暑い中、歌謡ショーも熱が入ります」（8月29日、JA西根中央支所ふれあいまつり）

すなっぷギャラリー